

令和6年度「教育課程等に関する企業様とのWeb意見交換会」報告書

開催日時：令和6年9月12日（木） Web意見交換会（13：00～14：30）

＊台風により日程調整し実施

テーマ：「産業界が短大へ求める資質や知識並びに本学の教育等への取組みについて」の意見交換会
会場：Web会議

出席企業：5社10名

本学出席：教職員11名

1. 実施の目的

本学は「For all the students ～すべての学生生徒のために」を経営理念とし、「丁寧な教育」を戦略の一つとして掲げ、教職員協働体制で学生指導にあたることを、中期経営計画で定めている。

18歳人口の減少により全国の大学・短大は学生確保に苦慮しているのが状況である。本学に於いても、志願者および入学者の確保を安定的に継続することは容易ではないと認識している。

そのため、本学は「情報の短大」として、日進月歩する情報技術に対応し、ITを利活用できる優秀な社会人を輩出できるよう、令和2年度からPBL（問題発見・解決型学習）を組み入れた大規模な組織並びに教育課程の改編を実施した。今回は、本学の教育の質をより一層向上させるために、企業様から学生に求める資質や知識、並びに本学の教育内容等について率直なご意見をいただき、企業の方々の客観的な視点を取り入れた点検・評価を行い、社会的要請に対応できる教育課程へと改善していく狙いである。

2. Web意見交換会

進行及び趣旨説明（吉原）

(1) 学長挨拶

(2) 学科説明（弘中）

(3) 就職の取組み（矢野）

(4) 企業様との意見交換

①教育課程に関する内容に対する企業様からの意見・・・弘中担当

②就職支援に関する企業様からの要望・・・矢野担当

(5) 総評（学長）

3. 企業との意見交換会

1. 学生の採用に当たってどのような点を重視しますか。

《企業1》

新卒採用で求めている人材像としては、弊社の社員にも求めている姿勢と同様の主体性を掲げている。弊社もIT業界に身を置いているので、情報系の技術や知識、自ら学ぶ主体的な行動は特に新卒採用の面接においては重視している。

《企業2》

弊社は専門知識というよりも人物重視の主体性や協調性を採用条件としている。

《企業3》

弊社の採用に関しては、第一優先でコミュニケーション能力である。IT スキルはもともと身についているに越したことはないが、社内研修でしっかりと身に付けていくようにしている。まずは、コミュニケーション能力、聞く力、自己発言能力を中心に人を見ている。

《企業4》

弊社は、仕事に順応するためのコミュニケーション能力を重視している。会社も変革期でもあり、IT 系の知識、技術が今後必要となる。

《企業5》

弊社は2つあり、まず1つはモノづくりに対しての技術と熱意、好奇心を重視している。2点目は、成長意欲で技術の革新に対してしっかりと学んで成長してほしい。

2. 短大は2年間ですが、卒業するまでに身につけてほしいことは何ですか。

《企業1》

会社に入ってから個人ではなくて、チームでの作業を進めるので調整能力やリーダーシップを発揮してほしい。その役割に違いはあるけど、いろいろな課題に対してチームで作業を行う上でいろんな経験を積んでもらいたい。育成能力は、チームの中で人間同士のコミュニケーションを取りながら作業を進めていく基礎的な力が必要と思う。

《企業2》

入社後に新入社員が苦勞する点としては、電話応対での言葉遣いとか細かいところで悩んでいる話をよく聞くので、基本的なビジネスマナー、敬語や丁寧語の使い方を最初の新入社員研修で対応している。

《企業3》

弊社では、コミュニケーション能力は大きく2つ考えていて、まず聞く力でもう1つが自己表現能力。会社説明会でもそこを説明していて、IT のシステム開発は、チーム単位なのでコミュニケーション能力が大事だと伝えている。コミュニケーション能力とは、傾聴力というより内容を正しく聞く力ということを重視して、それに対して自分の意見をしっかりと返すことができる自己表現能力を重視している。学生からはそういう力はどうやれば身につくのかという質問を受けるが、明確な回答は出来ないが、アルバイトを通してだとか、色々なコミュニケーションを通して、普段からいろんな人と会話をすることが大事だと伝えている。特に、年上の方と接する機会を増やしてほしいと伝えている。

《企業4》

弊社は日々の業務に満足するのではなく、効率性や安全な職場環境を目指す上で、日々業務改善を行い、問題を自分で発見する力を養っている。日々の作業を当たり前と思わず現状に満足することなく作業を行い、問題を見つけた際の解決策を見いだせば社会人として活躍できると思う。

《企業5》

弊社は、モノづくりの会社に対して技術を提供する業務形態なので、言語の部分で、Java とか、C 言語などの基礎知識が必要となる。弊社も AI 自動運転、スマートファクトリーとビッグデータの解析など、最先端の技術に関わる機会が多くあり、パイソンが主流としている業界も多いためその部分の対応ができればより良いと思う。

3. 本学学生能力や意識の水準について、どう感じておられますか。

《企業1》

今年度、貴学より1名入社していて非常に意識が高く、自ら学ぶ姿勢が教育研修の時から見えていた。今は鉄道システムのマルスという開発プロジェクトに従事をしている。着実に基礎知識を身につけながら学んでいる。非常に良いご縁をいただいたので今後に繋げていきたい。

貴学において情報系の基礎的な技術を身につけるPBL科目など、2年間という短期間で集中的に学習している印象がある。入社後、熱心にコミュニケーション能力を発揮し新人研修時でもみんなで協力し合い率先している人な人に声をかけている。

《企業2》

貴学の学生は非常に能力が高いとっていて、現場の方の評判も非常によくやっていると聞いている。4年制大学の学生と比較しても、当社は同じ内容で同じOJT、カリキュラムでやっているの、年齢とか経験とか関係なく、一斉にスタートなのであとは頑張りかなと思う。

《企業3》

貴学の学生は研修の中でも全てにおいて平均より高めである。短大卒だけどしっかり幅広くやられていると思う。今年度貴学から入社した方が、内定式に金髪で来てみんなにインパクトをすごく与えたけども、いざ話を聞くとすごくおとなしい性格なので最初は大丈夫かなと思ったが、その後ゆっくりと話をしてみると、本人の良さがしっかり出てきて、コミュニケーションもしっかり取れている。おとなしい感じはあったが、逆に打ち解けていってしっかりしていると思ったので、そのギャップが逆に私としては印象に残っている。

短大で幅広く勉強していることが、研修結果からも出ている。今のOJTでも全く問題なく、最初は現場でもおとなしいという印象があったけど、今はコミュニケーションも取って積極的にわからないところを聞いて全く何も問題ない。

《企業4》

弊社は、貴学からの採用においてマッチングがうまく合わずこれまで採用に結びつかなかった。採用試験では4大生卒と同様の内容の試験を受けて内定しているので、4大生と短大生の差は感じず、良い人材の学生がいるという印象がある。今年は貴学から1名入社がありコミュニケーション能力もすごく高くて、職場の同僚ともすぐに馴染んでいて良い関係を現在築いる。

《企業5》

貴学からは22年新卒から1名ずつ入社していて、今年の新入社員も4月からもうすでに現場で活躍していて、今は愛知県の自動車会社でIT系の開発部門で非常にお客さんからの評価も高く、アウトプットも早いと聞いている。配属の際、ショートメッセージが私に来て「配属が決まりました」と連絡があり、

何でもやる精神で頑張りますとすごくやる気に満ち溢れたメッセージであった。就活中にも積極的な姿勢が垣間見れた学生で、非常に優秀だと感じた。今年度、25 年新卒も 2 名の内定者が決まっていますと 2 名とも入社に向けて準備が進んでいる。レスポンスや納期意識も高く安心して迎え入れられる。

4. 本学の教育内容やカリキュラム等に関して要望されることは何ですか。

短大生に求められるものとして、知識・技術・常識等、どのような点ですか。

《企業 1》

貴学からの新入社員 1 名は、教育研修において短大時に身につけてきたスキルやプログラミング能力などを発揮し、他者と関わり合い新入社員の中でも優れていて率先して引っ張っていくようなタイプという印象がある。

《企業 2》

ビジネスマナー的な部分は、短大の講義では受講できないと思うので社会人になって身に付けていくものだと思うが、就活において、面接の練習などをカリキュラムの中に取り入れてビジネスマナー等について学ぶ機会があれば望ましいと思う。

《企業 3》

弊社に入社した貴学の学生は、IT 基礎知識においても大丈夫でシート Java に取り組んでいる。グループ研修ではデータベースリーダーとしてチームを引っ張っていた記憶があり、問題ないと思っている。

《企業 3》

弊社は、ビジネス文書作成や資料作成はエクセルを使用している。エクセルの操作方法も含めビジネス的構成や表計算などの経験を積んでもらいたい。

《企業 5》

弊社は、神奈川県の研修センターで 3 か月程みっちり研修を行い配属先に送り出している。知識や基礎スキルも重要ですが、先ほど皆さんから出ている意見同様、人間力であったりコミュニケーション力も含めた総合力として重視している。人間力と技術力がしっかりしていれば大丈夫と思う。

5. 本学の就職支援活動について、どう感じておられますか。

《企業 1》

貴学の学内合同説明会にタイミングが悪く、去年は参加できてなかったが、10 月の業界研究会にウェブで参加が決まっている。弊社としてはウェブよりか対面で実施した方が学生の声も聞けるので対面での説明会等をさせていただきたいと思っている。

《企業 2》

合同会社説明会や個別会社説明会の参加させていただいておりますので、今後も引き続き参加させていただきたい。

《企業 3》

貴学より今年度 1 名入社していますが、来年度は現時点でご縁がないので、引き続き良い学生さんとの

出合いのチャンスをいただきたいので、声をかけいただければと思う。

《企業4》

弊社は6月の業界研究会に参加して夏のインターンシップにつながり、内定者が出たので、継続して参加させていただきたい。

《企業5》

いつも鶴留さんには大変お世話になっていて、鶴留さんには一人ひとりの学生さんの状況や、就職状況の把握をされていてしっかりと対策できていると感じている。来年度に向けてもご協力いただければと思う。

総評(学長)

お忙しい中、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

事前アンケートを拝見しただけではなかなか心に響かないことが、同じことでもこうやって企業の皆さんから直接話を聞きますとずっしりと響くものがあるというふうに感じました。本当に良かったと思います。現状、短大はなかなか厳しい状況ということもあって、特徴を出すということについて気を取られがちになりますが、今日改めて企業様の話を聞きまして、基本忘れてはいけないということをつくづく痛感いたしました。基本的な知識等は短大を卒業する時点で身につけていてほしいので、いろいろな基礎的な能力をしっかりと身につけられるように、教職員一同頑張っていきたいと思っております。本当に今日はどうもありがとうございました。

以上